

一般社団法人 日本原子力学会
第 99 回 標準委員会 議事録

I - 1 日 時：2025 年 3 月 5 日（水）13：30 ～ 17：15

I - 2 会議方式：Web 会議

I - 3 出席者（敬称略）

（出席委員）山本委員長，西山副委員長，毎熊幹事，青野，阿部，井口，石川，糸井，乾，今井，小澤，黒田，酒井，佐々木，清水，菅谷，曾根田，高田，竹山，田中，戸澤，成宮，西田，椋木，山野（25 名）

（フェロー委員）宮野（1 名）

（欠席委員）牛尾，木倉（2 名）

（委員候補者）中島正人（電力中央研究所）（1 名）

（常時参加者）岡田，佐々木，鈴木，富田，南（5 名）

（欠席常時参加者）田中，藤澤（2 名）

（説明者）【リスク専門部会】桐本副部会長

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会】片桐委員

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会】根岸幹事

【システム安全専門部会】大谷幹事

【システム安全専門部会 PLM 分科会】中川幹事，櫛崎常時参加者

【システム安全専門部会 水化学管理分科会】平幹事，莊田委員，中野委員，
宮重常時参加者，前田常時参加者

【システム安全専門部会 水化学管理分科会 PWR 水化学管理指針作業会】
西村常時参加者，山崎常時参加者

【システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク】村上主査，中川委員

【システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会】工藤主査，尾崎常時参加者

【基盤応用・廃炉技術専門部会】湊幹事

【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】西村委員，工藤委員

【原子燃料サイクル専門部会】藤原幹事

【原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事，清水委員

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 放射能評価分科会】田村幹事，駒月委員，中島委員

【標準活動基本戦略タスク】毎熊主査，黒田幹事，清水委員

（延べ 29 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3 名）

I - 4 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

II 議事内容

事務局から、委員(フェロー委員含め)28名中、開始時点で24名の出席があり、委員会成立に必要な定足数(19名以上)を満足している旨の報告があった。その後、会議中に出席の委員があり、最終的に26名の出席となった。

1. 前回議事録の確認(SC99-1)

前回議事録(案)については既に配付・修正されているものであり、特にコメント無く、承認された。

2. 人事について

(1) 標準委員会

資料SC99-2-1に基づき、標準委員会の人事について以下の提案及び報告があった。

- | | | |
|---------------------|-------------|---------------------|
| ① 委員退任の確認 | | |
| 岡本 孝司 | 東京大学 | 2025.01.31 職務委員任期満了 |
| ② 理事会による委員選任承認の確認 | | |
| 糸井 達哉 | 東京大学 | 2025.01.29 理事会承認 |
| ③ 理事会による委員再任承認の確認 | | |
| 山本 章夫 | 名古屋大学 | 2025.03～2027.02 |
| 竹山 弘恭 | 中部電力 | 2025.03～2027.02 |
| 棕木 敦 | 日揮 | 2025.03～2027.02 |
| ④ 理事会による職務委員選任承認の確認 | | |
| 阿部 弘亨 | 東京大学 | 2025.02～2027.01 |
| ⑤ 委員選任の決議 | | |
| 中島 正人 | 電力中央研究所 | 2025.04～2027.03 |
| ⑥ 職務委員選任の決議 | | |
| 石川 顕一 | 東京大学 | 2025.03～2027.02 |
| 高田 孝 | 東京大学 | 2025.03～2027.02 |
| ⑦ 委員再任の決議 | | |
| 田中 裕治 | 日本原燃 | 2025.06～2027.05 |
| 西山 裕孝 | 日本原子力研究開発機構 | 2025.06～2027.05 |

委員退任、理事会による委員選任承認等が確認され、また、審議の結果、委員の選任等が決議された。
委員選任された中島様からご挨拶をいただいた。

(2) 専門部会

資料SC99-2-2に基づき、専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

(2)-1. リスク専門部会

- | | | |
|----------------|-------------|----------------------|
| ① 委員選任の承認(決議) | | |
| 玉置 等史 | 日本原子力研究開発機構 | 2025.04～2027.03 |
| ② 部会長選任の承認(決議) | | |
| 高田 孝 | 東京大学 | 3期目(2025.03～2027.02) |

(2)-2. システム安全専門部会

① 委員退任の確認

河村 真一郎	東芝エネルギーシステムズ	2024.12.31
--------	--------------	------------

② 委員再任の承認（決議）

鬼沢 邦雄	日本原子力研究開発機構	2025.06～2027.05
木藤 和明	日立 GE ニュークリア・エナジー	2025.06～2027.05
木村 伊市	東北電力	2025.06～2027.05
工藤 義朗	東京電力ホールディングス	2025.06～2027.05

(2)-3. 基盤応用・廃炉技術専門部会

① 委員退任の確認

森井 桂	日本原子力発電	2024.12.17
北島 庄一	電力中央研究所	2024.12.31

② 委員選任の承認（決議）

小形 好弘	日本原子力発電	2025.03～2027.02
-------	---------	-----------------

③ 委員再任の承認（決議）

湊 博一	日立 GE ニュークリア・エナジー	2025.05～2027.04
原 茂樹	関西電力	2025.06～2027.05

④ 部会長選任の承認（決議）

石川 顕一	東京大学	3 期目（2025.03～2027.02）
-------	------	-----------------------

(2)-4. 原子燃料サイクル専門部会

① 委員退任の確認

浅野 隆	日立 GE ニュークリア・エナジー	2025.01.31
------	-------------------	------------

② 委員再任の承認（決議）

佐々木 隆之	京都大学	2025.05～2027.04
立川 博一	原子力安全研究協会	2025.05～2027.04
山本 正史	原子力環境整備促進・資金管理センター	2025.06～2027.05

(2)-1～4 の各専門部会について、委員の退任等が確認され、委員の選任・再任が承認された。

(3) 標準活動基本戦略タスク

SC99-2-3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事に関し、特に変更がない旨の報告があった。

3. 審議事項

(1) 【報告・審議】（公衆審査の結果）

“外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X” 改定原案に関する公衆審査の結果について

（担当：事務局，リスク専門部会 外的事象PRA分科会 片桐委員）

事務局から SC99-3-1-1 に基づき、題記に関する公衆審査の結果、ご意見が無かったことが報告された。引き続き、説明者から軽微な修正について説明があり、審議の結果、この内容で制定・発行することが決議された。

特に質疑、コメント等は無かった。

(2) 【報告・審議】（公衆審査の結果）

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案に関する公衆審査の結果について

（担当：事務局，原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，清水委員，松本委員）

事務局から SC99-3-2-1 に基づき，題記に関する公衆審査の結果，ご意見が無かったことが報告された。審議の結果，公衆審査にかけた内容で制定・発行することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(3) 【報告・審議】（発行承認審議）

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”技術レポート原案に関するコメント受け付けの結果について

（担当：事務局，リスク専門部会 地震PRA作業会 根岸幹事）

事務局から SC99-3-3-1 に基づき，題記に関するコメント受け付けの結果，意見が無かったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-3-2～3 に基づき，特に修正等がない旨の説明があり，審議の結果，この内容で発行承認することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4) 【報告・審議】（発行承認審議）

“世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整理）”技術レポート原案に関するコメント受け付けの結果について

（担当：事務局，システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 村上主査，中川委員）

事務局から SC99-3-4-1 に基づき，題記に関するコメント受け付けの結果，1名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-4-2～3 に基づき，コメント対応等についての説明があり，審議の結果，この内容で発行承認することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(5) 【報告・審議】（発行承認審議）

“実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”技術レポート原案に関するコメント受け付けの結果について

（担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 西村委員，工藤委員）

事務局から SC99-3-5-1 に基づき，題記に関するコメント受け付けの結果，意見が無かったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-5-2～3 に基づき，題記の技術レポート原案について基盤応用・廃炉技術専門部会で内容承認された旨の報告があり，審議の結果，この内容で発行承認することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(6) 【報告・審議】（書面投票の結果）

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補5）”標準改定原案に関する書面投票の結果について

（担当：事務局，システム安全専門部会 PLM分科会 中川幹事，櫛崎常時参加者）

事務局から SC99-3-6-1 に基づき，題記に関する書面投票の結果，可決され，特に意見は無かったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-6-2～3 に基づき，特に修正等がない旨の説明があり，審議の結果，この改定案にて1か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(7)【報告・審議】（書面投票の結果）

“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”及び“沸騰水型原子炉の水化学分析方法”（3件）の改定原案に関する書面投票の結果、及びその対応について

（担当：事務局，システム安全専門部会 水化学管理分科会 平幹事，宮重常時参加者）

事務局から SC99-3-7-1-1～4 に基づき，題記に関する書面投票の結果，4 件とも可決され，一部の標準案について合わせて 3 件の意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-7-2～17 に基づき，意見への対応について説明があった。審議の結果，本日のコメントを反映・修正し，その修正内容をシステム安全専門部会三役，標準委員会三役が確認のうえ，その修正版にて 1 か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：SC99-3-7-1-8 に関し，コメントの趣旨は，まえがきについても丁寧に記載していただきたいということ。

C：解説 5 の修正案についての疑問は，BWR の水化学管理指針なのに何故 BWR と ABWR を比較して再循環系を説明するのか。また「PWR との比較において」とし，BWR では低圧で設計可能と説明したうえで，タービン機器で遮蔽及び除染が必要と述べているが何故か。PWR との比較を記載するよりも，まえがきに記載のある「線源強度低減による作業従事者被ばくの低減」に繋がるのが良いのではないか。それであれば PWR との比較ではなく，ALARA の思想で水質管理が被ばく低減に繋がると書いた方がいいのではないか。公衆審査に進むことに反対ではなく，丁寧に書いてほしい。PWR との比較とすると分かりにくい。

A：持ち帰り検討する。

(8)【報告・審議】（最終報告）

“外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X”技術レポート改定原案に関する最終報告について

（担当：リスク専門部会 外的事象PRA分科会 片桐委員）

説明者から SC99-3-8-1～4 に基づき，題記の技術レポート原案に関する最終報告があり，審議の結果，30 日間のコメント受け付けを行うことが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(9)【報告】（意見募集の結果と対応）

“BWRの時間領域核熱水力安定性評価基準：202X”標準原案に関する意見募集の結果と対応について（担当：事務局，システム安全専門部会 BWR熱流動評価分科会 工藤主査，尾崎常時参加者）

事務局から SC99-3-9-1 に基づき，題記に関する意見募集の結果，2 名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC99-3-9-2～4 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，引き続き本報告へ向けて検討を進めることとした。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：PIRT に関する現象の同定及びランキング付けに関する記載については，今後の標準の作成プロセスで議論された結果を踏まえて，標準の附属書（参考）などにも追記されるのか。

A：本報告までに PIRT に関する議論を分科会・作業会で進める。その結果については，標準にも反映する予定である。

(10) 【報告・審議】（中間報告）

“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X”改定原案に関する中間報告について
（担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 平幹事，中野委員，前田常時参加者
PWR水化学管理指針作業会 西村常時参加者）

説明者から SC99-3-10-1～SC99-3-10-2-3 に基づき，題記の改定原案に関する中間報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：BWR の管理指針のまえがきへのコメントをこの PWR の方のまえがきにも反映しているが，PWR の指針本体の方に改定・追記したところはあるか。

A：本体には無い。解説など改定が必要な箇所は見直しているが，前書きの影響を直接受けた修正箇所はない。

Q：将来の改定で影響を受ける点はない，という認識で良いか。

A：ご認識のとおりである。

(11) 【報告】（趣意説明）

“加圧水型原子炉二次系水化学管理指針”の改定について
（担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 平幹事，莊田委員，中野委員，前田常時参加者，
PWR水化学管理指針作業会 山崎常時参加者）

説明者から SC99-3-11 に基づき，題記標準の改定の趣意について説明があり，この内容で改定検討を進めることを確認した。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：今回の改定のメインとなるものは何か。マイナーなアップデートか。

A：背景でも触れている「電気伝導率管理による制御方法の検討」や副資材管理の考えからの追記などが該当する。引き続き，作業会・分科会でも議論を予定している。

Q：長期保管関係で新たに追加となることは二次系には無いか。

A：現状の保管管理にて問題はないとの認識である。

(12) 【報告】（趣意説明）

“原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X”本格改定の概要報告について
（担当：システム安全専門部会 PLM分科会 中川幹事，櫛崎常時参加者）

説明者から SC99-3-12 に基づき，題記標準の改定の趣意について説明があり，この内容で改定検討を進めることを確認した。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

Q：議題(4)で発行承認された長期運転の技術レポートはインプットすべき情報となるか。

A：その結果からも安全性向上評価及び保守管理との連携の強化が必要と考えている。

Q：リスク情報活用をどのようにするかの議論で，IRIDM 標準からの引用などを考えているか。

A：そのあたりを IRIDM 体制との連携強化といったところから議論を始めている。

C：そのような連携は大事である。

Q：NRA の参画はどうか。

A：常時参加者として分科会の議論に参加している。

Q：PSR+との接点はあるか。

A：資料では安全性向上評価と称して PSR+標準のことも含めて記載している。

(13) 【報告】（趣意説明）

“中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019”の改定に係る趣意書の修正について
（担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW放射能評価分科会 田村幹事，駒月委員，中島委員）

説明者から SC99-3-13 に基づき，題記標準の改定の趣意について説明があり，この内容で改定検討を進めることを確認した。

特に質疑，コメント等は無かった。

(14) 【報告】（趣意説明）

“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2016”における適用評価事例集及び標準の階層化に関わる改定のための作業会の再構成について

（担当：リスク専門部会 外的事象PRA分科会 津波PRA作業会 桐本幹事）

説明者から SC99-3-14 に基づき，題記標準の改定とそのための作業会の再構成の趣意について説明があり，この内容で改定検討を進めることを確認した。

特に質疑，コメント等は無かった。

(15) 【報告】

L1放射能評価標準の技術評価対応への振り返りについて

（担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW放射能評価分科会 田村幹事）

説明者から SC99-3-15 に基づき，L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返りについて原子燃料サイクル専門部会としてのまとめの説明があり，この内容について協議した。この資料も踏まえて，標準委員会としての技術評価への基本的な考え方をまとめ，関係各所へも発信していくこととした。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：この資料は原子燃料サイクル専門部会のクレジットの資料だが，標準委員会としてこのとおりに進めるかどうかは未だ決まっていない。近いうちに標準委員会としての資料をまとめる予定である。

C：NRA とのコミュニケーションで情報の齟齬があったのは，電気協会も同様であった。その対策として，会合の中で必ずメモを取って，その会合の最後にその場で確認することとした。テクニカルな事であるが参考として情報共有する。

C：標準委員会も，そのような対応をもっと早く学ぶべきであった。

Q：齟齬があったというのは，具体的にはどのようなものか。

A：一つは，標準の位置付けとして，NRA は仕様規定を対象として技術評価するが，学会標準は性能規定部分があり，議論がかみ合わなかったことがある。

(16) 【報告・審議】

標準策定5か年計画（2025年度版）について

（担当：リスク専門部会 桐本副部会長，システム安全専門部会 大谷幹事，

基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事，原子燃料サイクル専門部会 藤原幹事）

各専門部会から SC99-3-16-1～4 に基づき，標準策定5か年計画の2025年度版について説明があり，審議の結果，この内容で来年度の標準策定を進めること，並びにこの5か年計画について本年度末までの進捗を反映したうえでHPへ掲載することを確認した。

特に質疑、コメント等は無かった。

4. 標準活動基本戦略タスク・原子力安全検討会の活動

(4-1) 【報告】

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

(担当：標準活動基本戦略タスク 毎熊主査，事務局)

説明者から SC99-4-1-1～3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの議事録、標準委員会の全体工程の資料紹介があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-2) 【報告】

原子力安全検討会の議論状況について

(担当：原子力安全検討会 高田主査)

説明者から SC99-4-2 に基づき、原子力安全検討会の議論状況について報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-3) 【報告】

倫理教育について

(担当：標準活動基本戦略タスク 清水委員)

説明者から SC99-4-3 に基づき、倫理教育の実施状況について報告があった。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-4) 【報告・審議】

用語辞典改定について

(担当：標準活動基本戦略タスク 黒田幹事)

説明者から SC99-4-4-1～3 に基づき、用語辞典の改定案について報告があった。審議の結果、30 日間の意見募集を行うことが決議された。

特に質疑、コメント等は無かった。

(4-5) 【報告・審議】

JIS Z 4001 廃止に伴う今後の標準への対応について

(担当：標準活動基本戦略タスク 黒田幹事)

説明者から SC99-4-5-1～3 に基づき、題記に関する対応について報告があった。審議の結果、この対応案を承認すること、並びに、見直し中の標準作成ガイドラインの改定案について3月下旬をめどに見直したうえで、30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

C：JIS Z 4001 は既に正式に廃止されているので、各専門部会にてこの内容に沿って対応を進めていただきたい。ガイドラインの意見募集は後ほど実施する。

(4-6) 【報告・審議】

アクションプランの改定について

(担当：標準活動基本戦略タスク 毎熊主査)

説明者から SC99-4-6-1～2 に基づき、標準委員会アクションプランの改定案について説明があり、審議の結果、30 日間の意見募集を行うことが決議された。

特に質疑、コメント等は無かった。

5. その他

- (1) 本日が標準委員会への出席が最後となる、酒井委員、清水委員、菅谷委員から退任のご挨拶をいただいた。

(2)次回は 2025 年 6 月 4 日（水）10 時から開催予定とした。

【配付資料】

- SC99-0 第 99 回標準委員会議事次第
- SC99-1 第 98 回標準委員会議事録（案）
- SC99-2-1 人事について（案）（標準委員会）
- SC99-2-2 人事について（専門部会人事案件一覧）
- SC99-2-3 標準活動基本戦略タスク委員名簿
- SC99-3-1-1 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”に関する公衆審査の結果について
- SC99-3-1-2 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（公衆審査結果の報告及び制定・発行について）
- SC99-3-1-3 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（改定原案完本）
- SC99-3-1-4 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（改定原案完本）（修正履歴有）
- SC99-3-2-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”に関する公衆審査の結果について
- SC99-3-2-2 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案（完本版）
- SC99-3-3-1 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”技術レポート原案のコメント受け付け【SC24-12】について
- SC99-3-3-2 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”（技術レポート 標準委員会【報告・審議】）
- SC99-3-3-3 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”（技術レポート原案完本）
- SC99-3-4-1 “世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整備）”技術レポート原案に関するコメント受け付け【SC24-13】の結果について
- SC99-3-4-2 (3)【報告・審議】（発行承認審議）
- SC99-3-4-3 長期運転体系検討タスク技術レポート最終原案の標準委員会及びシステム安全専門部会の意見対応
- SC99-3-4-4 “世界最高水準の安全な長期運転を効率的に実現するための取り組みについて（体系的な標準類の再整理）”技術レポート原案（完本）
- SC99-3-5-1 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”技術レポート原案に関するコメント受け付け【SC24-14】の結果について
- SC99-3-5-2 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”耐震安全技术レポート 意見募集結果
- SC99-3-5-3 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方”技術レポート原案（完本）
- SC99-3-6-1 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 5）”改定原案に関する書面投票【SC24-07】の結果について
- SC99-3-6-2 (1)【報告・審議】（書面投票の結果）
- SC99-3-6-3 “原子力発電所の高経年化対策実施基準：202X（追補 5）”改定原案（完本）
- SC99-3-7-1-1 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”改定原案に関する書面投票【SC24-08】の結果について
- SC99-3-7-1-2 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”改定原案に関する書面投票【SC24-09】の結果について
- SC99-3-7-1-3 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131：202X”改定原案に関する書面投票【SC24-10】の結果について

- SC99-3-7-1-4 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”改定原案に関する書面投票【SC24-11】の結果について
- SC99-3-7-2 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”（書面投票結果）
- SC99-3-7-3 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”（書面投票結果）
- SC99-3-7-4 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131：202X”（書面投票結果）
- SC99-3-7-5 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”（書面投票結果）
- SC99-3-7-6-1 標準委員会コメント対応
- SC99-3-7-6-2 専門部会追加コメント対応
- SC99-3-7-7 SC98-3-4-2-1 AESJ-SC-S007:202X 沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X
- SC99-3-7-8 沸騰水型原子炉の水化学管理指針 新旧比較表（案）（前回報告時からの比較）
- SC99-3-7-9 沸騰水型原子炉の水化学管理指針 新旧比較表（案）
- SC99-3-7-10 沸騰水型原子炉の水化学管理指針 新旧比較表（案）（後半）
- SC99-3-7-11 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”（改定原案 完本）
- SC99-3-7-12 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン 新旧比較表（案）
- SC99-3-7-13 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”（改定原案 完本）
- SC99-3-7-14 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131 新旧比較表（案）
- SC99-3-7-15 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－よう素 131：202X”（改定原案 完本）
- SC99-3-7-16 沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物 新旧比較表（案）
- SC99-3-7-17 “沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”（改定原案 完本）
- SC99-3-8-1 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：2025”（最終原案の確定の報告及び意見募集について）
- SC99-3-8-2 技術レポート（最終報告版）へのご意見・気付き事項の反映について
- SC99-3-8-3 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：2025”技術レポート改定最終原案（完本）
- SC99-3-8-4 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：2025”技術レポート改定最終原案（修正履歴有）
- SC99-3-9-1 “BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準：202X”標準原案に関する意見募集【SC24-15】の結果について
- SC99-3-9-2 BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準 202X の標準委員会中間報告コメント対応表
- SC99-3-9-3 “BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準：202X”（案）（完本）
- SC99-3-9-4 BWR の時間領域核熱水力安定性評価基準：202X（案）の新旧比較表
- SC99-3-10-1 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X（中間報告）
- SC99-3-10-2-1 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X 新旧比較表（案）
- SC99-3-10-2-2 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X 新旧比較表（案）（附属書分）
- SC99-3-10-2-3 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：202X 新旧比較表（案）（解説分）
- SC99-3-11 日本原子力学会標準“加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針：2020”の改定について
- SC99-3-12 「原子力発電所の高経年化対策実施基準」の本格改定
- SC99-3-13 趣意書「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順：2019（AESJ-SC-F015:2019）」の改定について（案）
- SC99-3-14 標準委員会 リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 津波 PRA 作業会の再構成及び“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2016”における適用評価事例集及び標準の階層化に関わる改定について
- SC99-3-15-1 N R A 技術評価振り返り資料新旧比較
- SC99-3-15-2 技術評価振り返り資料へのご意見集約表（標準委員会）
- SC99-3-15-3 L1 放射能評価標準の技術評価対応への振り返り（最終版）

- SC99-3-16-1 リスク専門部会 標準策定 5 か年計画 (2025 年度版)
- SC99-3-16-2-1 システム安全専門部会 標準策定 5 か年計画 (2025 年度版)
- SC99-3-16-2-2 標準アンケートへの対応
- SC99-3-16-2-3 別紙 1 重要度“高”の新知見の概要 (各委員から提案された事案)
- SC99-3-16-3 基盤応用・廃炉技術専門部会 標準策定 5 か年計画 (2025 年度版)
- SC99-3-16-4 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 か年計画 (2025 年度版)
- SC99-4-1-1 標準活動基本戦略タスク 2024 年度第 4 回議事録 (案)
- SC99-4-1-2 2024 年度第 3 回標準活動運営委員会議事録 (案)
- SC99-4-1-3 標準委員会活動全体計画 (案) (年間工程表)
- SC99-4-2 第 47 回 原子力安全検討会 議事録 (案)
- SC99-4-3 2024 年度倫理教育の実施状況について
- SC99-4-4-1 用語及び定義, 略語の対比について (地震 PRA)
- SC99-4-4-2 改定標準の用語辞典への反映項目検討結果 (PSR+)
- SC99-4-4-3 “標準委員会 用語辞典: 202X” (案) (完本)
- SC99-4-5-1 JIS Z 4001 廃止に伴う今後の標準への対応について
- SC99-4-5-2 標準委員会規定類の合理化検討 (気付き事項)
- SC99-4-5-3 標準作成ガイドライン (改定案)
- SC99-4-6-1 標準委員会 アクションプラン 202X (改定案) (修正履歴有り)
- SC99-4-6-2 標準委員会 アクションプラン 202X (改定案)

- SC99 参考 1 標準委員会委員名簿
- SC99 参考 2 標準委員会出席状況
- SC99 参考 3 標準委員会の活動状況
- SC99 参考 4 専門部会の活動状況
- SC99 参考 5 2025 年度の標準委員会開催日について

以 上